

令和 5 年度 山王保育所事業報告

1. 概要

①運営報告

- 0才児の保育所入所申込数が激減しており、78名の園児スタートとなりの利用定員減（80名）ので4月を迎えました。本年より0才児定員を15名とした為、4月1日では0才児が1名の入園しなかったものの3月には15名埋まり全体で97名にまで園児数が増員しました。また、ベトナム籍スタッフも雇用し、言葉の面でも子育ての支援に努めました。
- 園長が中心となり、中間層の職員育成を行い、チェック表の作成等、現場全員で取り組みました。
- 不適切保育が騒がれる社会で園内の人権研修の取入れや、保育士による不適切保育のチェック表等に取り組み園としての虐待防止に取り組みました。
- 業務の効率化を図るため、仕事の簡素化や、行事の在り方について検討を行い、人材の増強等積極的に取り組みました。
- 園庭の環境を見直し大型遊具及び人工芝を導入しこどもの安全確保及び遊びの充実に努めました。

②定 員 80名

③事業日数 293日（日曜、祝日及び12月29日より1月3日は休園とします）

④開所時間 平日7：30～18：30 土曜日7：30～18：30

⑤保育時間

（保育標準時間） 平日・土曜日 7：30～18：30

（保育短時間）	平日・土曜日	早朝保育	7：30～ 8：00
		通常保育	8：00～16：00
		延長保育	16：00～18：30

⑥職員数 4月時点

園長1名 主任1名 保育士17名（パート保育士2名 パート派遣保育士2名）
パート看護師1名 栄養士1名 調理員 3名（うちパート調理員2名）、保育補助 3名
環境整備 1名 計28名
嘱託医（内科.歯科）各1名（内科年3回、歯科年1回 健診）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し、人として『生きる力』を育む。
- 保護者との信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する。
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす。

③保育目標

- 乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

④クラスの編成及び職員配置	利用定員	実利用数	(4月実績)
0歳児 さくらんぼ組	1名	1名	保育士1名
1歳児 いちご組	16名	16名	保育士3名
2歳児 もも組	11名	10名	保育士3名
3歳児 くり組	20名	19名	保育士1名（3歳児対応加配保育士1名）
4歳児 みかん組	15名	15名	保育士1名（障がい児加配保育士1名）
5歳児 かき組	17名	17名	保育士1名（障がい児加配保育士1名）
合計園児数	80名	78名	保育士計13名

⑤保育内容

- 0歳児から5歳児までの発達過程と子ども一人ひとりの育ちの背景を理解した上で、指導計画を立て、導入を大切に、子どもが「気づく、試す、面白い、もう一回」を繰り返す保育を行い、意欲と主体性を育みました。
- リトミックでは、ピアノの音を集中して聴き即時反応や、身体の使い方を丁寧に伝えます。また、「朝の意味ある運動」では保育者や子ども同士共感し合い、子ども自らが楽しむ事を目的としていますが、熱中した遊びまでは発展しない事も多く課題が残りました。
- 乳児期は引き続き保育士との愛着関係のもと安心して過ごせるよう「じゃれつき・運動遊び」を毎日取り入れました。
- 保育士の指示や声掛けが多く子ども自らが興味を持ち考え行動しようとするこども主体の保育にはまだまだ課題があります。

- 出来るだけ少人数で、緩やかな育児担当制にて保育を行いました。特に人材の配位置については雇用を増やしゆったりした環境で保育を行いました。
- リーフレット「種をまこう」を教材として月1回人権教育を行いました。
- 外部講師による、音楽指導（和太鼓）・英語指導・歌唱指導・サッカー指導、体育指導、絵画指導を行いました。
- 事務所前に体のしくみのコーナーを作り、保護者や子ども達に向け絵本等で性教育についても知ってもらう様努めました。登降園の際親子で一緒に絵本を捲る機会に繋がりました。

⑥家庭との連携

- 保育参加（年2回）・クラス懇談会・個人懇談会・家庭訪問（各年1回）を通して保育理念、方針、クラスの取り組みを丁寧に伝え理解を求めるとともに、保護者の思いを聞き取りながら、子どもの育ちを双方で確認し合い、家庭と連携を図りました。
- 引続きドキュメンテーションと YouTube（山王ちゃんねる）でその日の子どもの姿や保育のねらいが見える化し分かりやすく保護者に伝えました。
- 外国籍の子どもが全体の30%以上在籍（令和6年4月40%超）。互いの文化を認め合いながら、外国籍スタッフによる通訳、写真などを用いコミュニケーションを図りましたが、日常の会話などで不足も感じました。
- 配慮の必要な家庭については、市内各区の子育て支援室と連携し情報を共有し、必要に応じ子ども相談センターや、ケースワーカーと共に支援を行いました。
- 発達障がいのある子どもの家庭には、毎月、保護者と一緒に個別計画を立て保育を進めます。また、療育施設と連携を図りました。
- 卒園児・転園児とその保護者への支援について、卒園・転園後も継続して行き、子どもたちを見守り、主任が相談窓口として受け付けました。卒園児の来園あり。

⑦人材育成

- 園長や主任だけが行う仕事を極力減らし、中間層の育成を行うことで、仕事の見える化、効率化を図りました。
- 「一日の保育の流れ」や「入園のしおり」を使い主任保育士、リーダーが中心となり再度見直しを行いました。
- 毎週2回クラスミーティングの時間を設けクラス内で、互いの意見を受け止め認め合う時間を作りました。
- 園内の情報や困りごとは速やかに園長、主任保育士に報告・連絡・相談を徹底し、全職員が共有できる組織体制づくりに努めました。
- 年間の職員研修計画に基づき園内外の研修やWeb研修に参加し、保育の質の向上と同時に、法人理念・方針を達成できる職員育成に努めました。また、キャリアパス研修参加の機会を図りました。
- 大学教授等講師を招き研修を行い、保育の質の向上に繋げ、目標意識を持つ事で離職の少ない職場を目指しましたが、3年ぶりに正職での退職者が3名でました。アルバイト等でも退職があり多

くの職員が入れ替わりました。

- Benesse「これからの幼児教育」に山王保育所掲載。ドキュメンテーションの取組内容

⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援事業

西成区、阿倍野区、浪速区、天王寺区の支援室、保健師等、社会資源と連携しながら進めていきます。また、ホームページや情報誌「はぎっず」にて情報発信を行いました。

- 月に4回地域交流を行います。(10:00~11:00)

第2金曜日…近隣の親子が安心して遊べる憩いの場としての園庭開放を行いました。

第1. 3. 4金曜日…保育体験日。年齢に合ったクラスに親子で参加。

- 「スマイルサポーター」の活動を通し相談事業を行いました。

地域活動

- 地域の方からと思われる寄付金50万円があり玩具の購入や落語家を招いて地域の方と共に寄席を楽しみました。(各新聞社、テレビ局取材)

- 地域清掃を行い(5歳児)近隣を園児と一緒にゴミ集めに回りました。月2回

- 就学先の小学校を訪問し、各教室や授業風景を見学し就学に向け意識付けをしました。

- 小学校主催の「金塚祭り」に参加し、小学生と交流しました。

- 高校生の職場体験学習を行いました。

- 西成警察署と連携し、地域防犯活動やクリーンキャンペーンに参加しました。

防犯訓練を園内で合同で行いました。

- ボランティア学生の受け入れをしました。

⑨苦情処理

- 特になし

⑩リスクマネジメント

- 健康観察表に体温等記入し体調チェックを行いました。

- 職員はこどもと同時に昼食をとらず、別に昼食をとりました。

- 「よい子ネット」や園内掲示板にて、非常災害時や感染症発生状況等の配信を随時行いました。

また非常災害対応については、緊急連絡先の確認を行い次年度に備えました。

- 危機管理委員会を中心に危機管理マニュアルの見直しを園内研修計画に位置付け、パート職員を含め全職員に行き渡るように周知しました。

- 保健年間計画に基づき、感染症、SIDS対応、誤飲・誤嚥、予防接種、食中毒、救急看護等の園内研修を行いました。特にSIDS、誤飲・誤嚥、アレルギー、誤食、溺水、吐瀉物の処理は役割を決めマニュアル通りシミュレーションして実際に備えました。

- ヒヤリハットを気付く毎に記入し職員会議で話し合うことで怪我や事故を未然に防ぎ子どもが安全に過ごせるように努めました。

- 災害に備え備蓄品等防災用品の確保と点検を行いました。次年度購入予定。

- 月1回防災訓練を実施しました。(火災、地震、津波、台風、消火訓練、通報訓練等)

- 救命救急の職員研修（年1回5月・西成消防署）また、総合災害訓練（火災、消火、地震）
- 防犯訓練を行いました（西成警察と連携）

⑪その他

- 隣地工事の際事故で園のフェンスが破損（4月）修繕3月に完了
- 日本テクノ スマートロック設置 7月
- 0, 1歳児保育室畳部分シート改修 7月
- 伊那食品、ローターアクトクラブ等30名園見学 8月
- 寄付金50万円頂く 9月
- 2階テラス防水シート張替え工事11月～翌年5月
- 園庭大型遊具及び人工芝設置工事 12月